

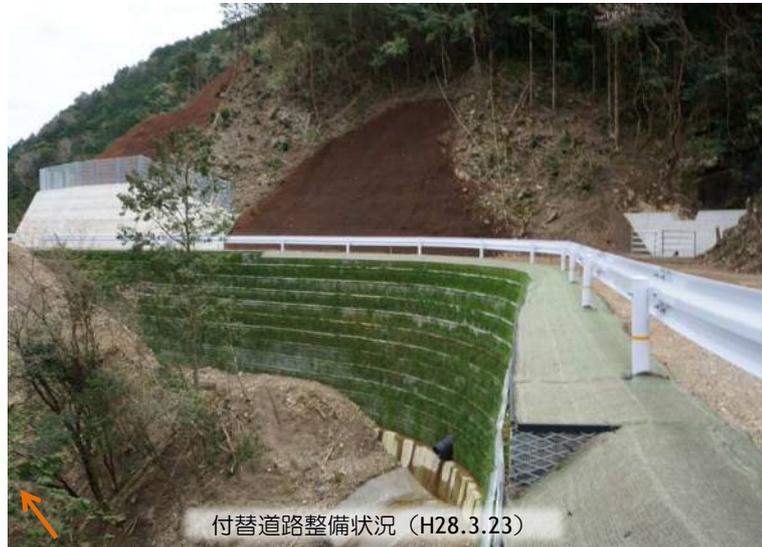


工事情報

和食ダム付替村道 着々と延伸 コンクリート打設 進捗率 約31% (3月末時点)



左岸*からみたダムサイト (H28.3.23)



付替道路整備状況 (H28.3.23)

※河川を上流から下流に向かって眺めたとき、右側を右岸、左側を左岸と呼ぶ (川の流れる方向 →)

和食ダム本体建設工事では、引き続き堤体コンクリートの打設を中心に施工が進められています。3月末時点におけるコンクリート打設の進捗率はおよそ31% (全コンクリート体積64千m³に対して、20千m³打設完了) となっています。また、ダム貯水池内に沈む道路 (村道) の付替工事については、3月末時点でおよそ1,450mが完成し、終点まで残り135mとなりました。平成28年度末には、舗装工事を除く全区間の付替道路工事が完成する予定となっており、和食ダムの事業完成に向けて着々と整備が進められています。

和食ダム 定礎式を挙行

官公庁関係者・国会議員・地元関係者など約100人が出席



瓜生谷地区関係者によるくす玉開放



尾崎高知県知事、竹内芸西村長
芸西小学校児童との記念撮影



本体工事JV職員等による礎石搬入

芸西小学校児童による
メモリアルストーン配置

和食ダムでは1月30日、ダムの本格的な築造に際し、清められた礎石をダム本体に納め、ダムの永久堅固と安泰を祈願する行事「定礎式」が行われました。式典当日は尾崎高知県知事や竹内芸西村長をはじめ、国、県、村、地域の方々、工事関係者などが出席し、工事の安全と円滑な進捗を祈念しました。狭い会場内ではありま

りましたが、御輿を担ぎ礎石を搬入する行事などが目と鼻の先で行われ、臨場感あふれる式典となりました。

「よかッパロード」基本構想 完成

平成28年度から各コースの詳細な設計に着手



座談会の様子



和食ダム周辺整備計画概要図



「よかッパロード」基本構想



東屋、ベンチなど施設のレイアウトを決定

芸西村の新しい自然体験型観光の一つとして、和食ダム周辺に整備する遊歩道「よかッパロード」の計画づくりが進められています。和食ダム周辺部の今後の利活用や村の観光イベントとの連携などを見据えた計画とするため、地域住民との座談会を、現地調査を含めこれまでに計4回実施し、意見・要望等を聞きながら全体の基本構想をつくりあげることができました。平成28年度からはこの基本構想を軸に、各コースの詳細な設計を行い、随時整備していく予定です。

芸西村の史跡紹介【第3弾】

「御林神社」の裏にある「馬ノ上古墳」



《馬ノ上古墳》

御林神社の裏にある馬ノ上古墳は、古墳時代後期（六世紀頃）の有力な豪族の墓と考えられており、大きな石が置かれた円形の古墳のことである。周溝を含めると直径約22mほどあり、高知県内でもこれほど良い状態で残っている古墳は、あまり例がありません。

「石の上には決して乗ってはいけない」という古い教えがあり、その昔、ある武士がこの石の上に乗って鳥を撃ったところ、傾けた首が元に戻らなくなったという言い伝えがあるそうです。次回は「中の城跡」です！

和食ダム 見学会情報

平成27年度は計26回、558名が参加



2月24日には芸西・夜須消防団、3月10日には芸西中学校3年生などを対象に、現場見学会が行われました。

平成27年度は計26回の現場見学会が行われ、堤体コンクリートの打設が進むダム現場を肌で感じていただくことができました。

現場見学のお申し込みについては随時受け付けておりますので、ご希望の方は和食ダム建設事務所までご連絡ください。

